

Kofax Express

強力な情報キャプチャ

Kofax Express™を使用すると、社内で受信する情報のフローを管理できます。大量の紙の書類は電子形式のビジネスコンテンツに変換され、業務ですぐに利用でき、保存やアーカイブも可能です。この強力なパッケージでは、だれもが文書のスキャン、インデクシング、およびエクスポート作業を短時間で実行できます。

初心者にとっては使いやすさ、上級ユーザーにとっては柔軟性の高さが特長の Kofax Express は、文書のインデクシングおよびタグ付けプロセスを自動化し、情報をアーカイブする時間と複雑さを削減します。Kofax Express を使用して取り込まれたデータは、Microsoft® SharePoint®, ECM、BPM などの 100 種類以上のさまざまなバックエンドシステム、アーカイブ、および記録システムに送信できます。

拡張性と柔軟性を実現

Kofax Express には他のワークステーションを追加して、インデクシング、認識、エクスポートを実行する機能が搭載されています。この柔軟なシステムでは、処理能力を強化したりステーション数を増やしたりして、システムのスループットを改善できます。

直感的で使いやすいインターフェイス

このソフトウェアには、Microsoft® Office 2007 アプリケーションと同じ使い慣れたインターフェイスが採用されています。ワンクリックするだけでコマンドを実行できるため、導入期間が短く、生産性が高まります。

最高の画質

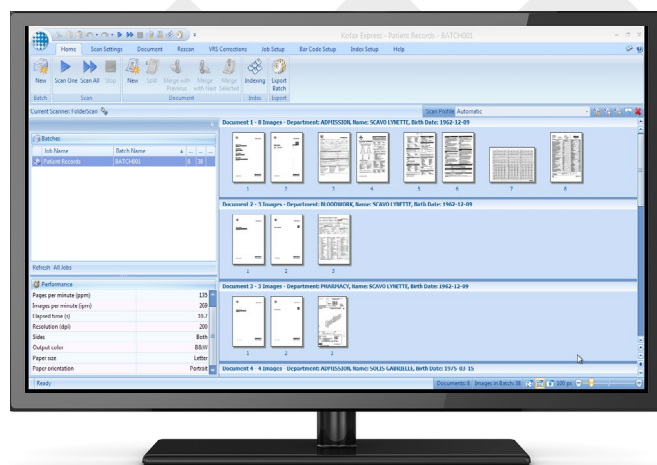
SmoothView™ の革新的な技術は、複数ドキュメントイメージの容易な操作を可能にします。必要に応じて、ドキュメント イメージの検索、置換、収集、拡大/縮小、分割、回転、入れ替え、並び替え、配置ができます。このような操作は、紙の文書では不可能なことでした。Kofax VRS Elite™ (特許取得済みの画像補正ソフトウェア) は、元の紙の文書よりも高品質の画像を生成します。スキャン処理前の文書の準備や設定は不要です。

SharePoint その他のシステムとの統合

Kofax Express は Microsoft SharePoint と緊密に統合されているため、分類してインデクシング処理したドキュメントとデータを SharePoint に配信できます。これにより、データの検索が容易かつ迅速になります。エクスポート API が提供されているため、カスタムエクスポートや高度なエクスポート処理にも対応しています。

データおよびゾーン認識

Kofax Express は OCR (光学文字認識) でテキストを、ICR (インテリジェント文字認識) で手書きの文字を認識し、文書から自動的に



使いやすいユーザーインターフェイスを備え、必要なトレーニングも最低限に抑えられているため、短期間で導入し、生産性を大幅に高めることができます。

データを抽出します。バーコードも自動的に抽出されて、インデックスフィールドにデータとして入力されます。この自動データ認識により、文書のインデクシングが高速化し、精度が確実に向上します。

インデックスフィールドデータも自動的に抽出されます。文書内でキーインデックス情報がどこにあるかを学習させることにより、Kofax Express はその場所を記憶し、次回以降の処理で文書を取り込む際には、文書のデータを自動的に抽出します。このため、文書処理の時間が短縮され、インデクシング処理が大幅に容易になります。

バーコード読み取り機能

Kofax Express に搭載されている強力なバーコードエンジンは、現在一般に使用されているほぼすべての 1 次元および 2 次元バーコードに対応しており、押印、手書き文字、あるいは飲み物のシミなどでバーコードの一部が欠損している場合でも読み取りが可能です。カラーによる精度は従来よりもさらに向上し、低解像度 (100 または 150 dpi) のバーコードでも、完全に読み取ることが可能になりました。Kofax Express は、スキャンドキュメント上のあらゆる位置のバーコードを識別し、バーコードが斜めに印刷されている場合でも読み取り可能です。

ラバーバンド認識

Kofax Express では、文書内のテキストをマウスで選択することにより、文書のインデクシング処理を容易に行えるようになりました。ハイライトした情報は Kofax Express によってインデックスフィールドに自動的に入力されます。キーボードからの入力は不要で、文書のインデクシング処理が高速化します。

フォルダ監視

Kofax Express は、「監視フォルダ」にアップロードされた各種画像 (TIFF、BMP、JPEG、および PDF 形式) を、スキャナから配信された場合と同じように自動で処理します。この機能によって、複合機やファクス、コンピュータ内に保存されたファイルなどさまざまなソースから集められた各種画像を、Kofax Express で処理することが可能になります。ユーザーのバックエンドリポジトリに格納されているあらゆるソースから取得した全画像にアクセスするための単一のインターフェイスを実現します。

サーチャブル PDF

サーチャブル PDF 機能では、PDF 画像にライブテキストが含まれているため、PDF 文書内の情報を簡単かつ正確に検索できます。

画像圧縮

圧縮機能は鮮明で切れの良いカラー画像を取り込みながら、小さいファイルサイズの白黒イメージを配信するため、ダウンストリーム処理が速くなり、処理効率が向上します。

バックグラウンドエクスポート

バックグラウンドエクスポートは、サーチャブル PDF と画像圧縮を補完します。スキャンを行う際にファイルをバックグラウンドで処理することによって、効率的にフォアグラウンドでスキャンを続けることができます。この機能は、大きな標準 PDF ファイルまたは TIFF ファイルのエクスポートでも便利です。

確認スクリプトとデータベース検索

管理者は VB.NET を使用して、確認スクリプトを作成できます。このスクリプトでは、ビジネスルールの適用、複数のデータベースソースからのデータ検索、またはフィールドに入力されたデータの確認ができます。

ポイントアンドクリック・リスキャン

スキャンされたページの角が折れていた、付箋をはがし忘れていた、あるいは 2 枚重なって送られた文書が検出されなかった場合などは、これまでは再スキャンするしかありませんでした。このような場合、「ポイントアンドクリック・リスキャン」オプションを使用すると、再スキャンされた文書を正しい場所に挿入できるため、プロセスが改善されます。バッチ全体を再スキャンする必要はありません。

柔軟な文書仕分け

Kofax Express は、自動的に、文書をグループ別に仕分けします。各文書を 1 つずつ取り込む手間を省きます。オートドキュメントフィーダ (ADF) に収まる分だけ文書をセットするだけで、Kofax Express がパッチコード、バーコード、または挿入された白紙ページに基づいて、文書を個々の文書グループに自動的に仕分けします。Kofax Express では、仕分け処理中でもスキャナが常時稼働しているため、かつてないほどの最高速度で文書を処理します。

VRS Corrections によるスキャンの後処理

文書の質が低く判読可能なイメージに変換できない場合でも、Kofax Express はスキャナを停止したり、修正待ち状態になることはありません。Kofax Express では VRS Corrections 機能が問題のあるイメージを保存しておくため、スキャン担当者が後から問題を検証および修正できます。文書の再スキャンは不要です。必要な元の文書に関する情報は Kofax Express に保持され、スキャン完了後に手動でイメージを補正できるため、スキャナの無停止実行が可能です。

ビジュアルなアンドゥー履歴

「アンドゥー(元に戻す)」機能は非常に便利です。しかし、何度もアンドゥー操作を繰り返すうちに、開始地点がどのあたりだったのか、何を元に戻したのか、どの処理を安全にやり直してできるのかなどわからなくなってしまうがちです。このような事態を回避するため Kofax Express では、あらゆる文書画像について、実行または元に戻したプロセスの流れを表示するビジュアルなアンドゥー履歴機能を導入しました。

Kofax Express について詳しくは、kofax.jpをご覧ください。